

新潟の暮らし情報サイト「niiGET」を使って、Uターンのため仕事や生活に関する情報を上手に入手しましょう。

携帯サイトでもご覧になれます。



http://www.niiget.jp

●新潟トピックス

新聞などに掲載された新潟県内の社会・経済情報を見ることができます。最低限の情報は、ここで確認できて便利です。

「**地元の新聞で社会・経済・文化などの情報を把握することが大切です。**」
帝京大学キャリアセンター センター長 由井 文良さん ※インタビュー(中面参照)

●合同企業説明会スケジュール

県内外で開催される合同企業説明会の日程が確認できます。

「**合同企業説明会などに参加して鮮度の高い情報を収集してください。**」
東洋大学キャリア形成支援センター 次長 池上 正男さん ※インタビュー(中面参照)

●教えて先輩!

U・Iターンされた方の体験談。体験談のバックナンバーも確認できます。

表紙の宮島さん、今井さんのインタビュー動画もあります。

本誌のバックナンバー、講読申し込みはここからできます。

メールマガジンも発信しています!



ピックアップ「お役立ち情報サイト」

▶ 起業支援サイトへアクセス

起業の際のアドバイス、ビジネス情報の提供、創業・経営革新の支援、市場開拓の支援等を行う県や商工団体等が出資している財団法人です。新潟県の産業に関する様々な情報が入手できるので、就職の際にも役立ちます。



「**起業に関する不安を解消できたのは、(財)にいがた産業創造機構のさまざまなサポートのおかげですね。**」
「**教えて先輩!**」の今井さん



▶ 就職支援サイトへアクセス

求人情報、合同企業説明会案内、就職体験談などの情報満載の就職支援サイトへのアクセスは右の順で。



「**U・Iターンや再就職を支援するサイトがたくさんあるので、それをこまめに見るところから始めてはどうでしょうか。**」
「**教えて先輩!**」の宮島さん

この「新潟生活」は、ご希望の方に無料で郵送しています。

お申し込み・お問い合わせ

新潟県県民生活課

〒950-8570 新潟県中央区新光町4番地1
TEL025-280-5112(直通)

編集後記



平成21年卒業生の就職活動スタートの時期ということで、仕事中心の編集になりましたが、大切なことは、結婚や子育てなども含めた将来のことを考えて就職を考えることだと思います。就職活動は絶好の機会です、親子でじっくりお話されてはいかがでしょう。

新潟生活

御希望の方に無料で郵送しています。

発行/新潟県県民生活課 〒950-8570 新潟県中央区新光町4番地1 TEL025-280-5112(直通)

目次

- 【教えて先輩!】“仕事”“暮らし”体験談
- 【インタビュー】Uターン就職を目指す学生の心得
- 【座談会】新潟で働きたい人の転職事情
- 【お役立ち情報】情報サイト「niiGET」活用術

申込 無料 FREE

vol.3



宮島由香利さん(40歳)
フリーウェブデザイナー
三条市出身。大学卒業後、東京で商業施設の屋外景観などを手がけた後、家族介護のために平成8年にUターン。介護のかたわら平成12年よりウェブデザインの仕事を始め、平成14年に開業。

DATA

●1ヶ月の支出

住居費・食費・光熱費	家族と同居のため8万円を親へ
小遣い	7万円
服飾費	5万円

地方には地方のよさがある

■Uターンしたきっかけ

父親の介護のために、半年間東京と三条を往復し、平成8年に仕事を辞め三条に戻ってきました。女性の場合、結婚とか家族の介護などで住む場所が変わることってありますよね。私は、父親の介護がきっかけで、帰らざるを得ない状況でした。東京での仕事を整理するのに半年かかりましたから、三条に戻ってからの仕事先は決めずにUターンしました。

■Uターンする際に不安だったことや心配だったこと

再就職ですね。東京で商業施設の屋外景観などを手がけていたのですが、それを三条に戻ってできるかというのは考えました。年齢的にも20代後半でのUターンだったため、介護を数年した後の30歳からの再就職は厳しいんだろうな、と。あとは、地域と自分のつながり、人間関係をどのようにつくるかということです。大学も県外でしたから、三条のことはよくわからない状態に戻ってくることに多少の不安はありました。

■現在住んでいる地域の魅力

一回出てみてわかる地域の魅力ってありますよね。海も山も近い自然環境、豊かな食。こうした新潟のいいところをアピールしている方の中には、Uターンされた方が多いように思います。私の場合、ウェブデザインの仕事という、パソコンの前に座っているというイメージがあると思いますが、お客様のところへお伺いしヒアリングやお打合せをさせていただきます。「どういう思いで会社を立ち上げているのか」をお聞きすると、職人さんや専門家、農業、さまざまなジャンルで中には保守的な業界でも自分のやり方、世界を創造していく人たちに触れ感動します。こういう人たちがいる地域ってすごいなあと、地元のよさを仕事を通じて再発見しています。



教えて先輩!

「新潟生活」の先輩が語る、新潟での仕事、そして暮らし。
U・Iターンを経て、社会人生活のステージに新潟を選んだ理由とは?

vol.4



今井進太郎さん(29歳)
長岡市出身。慶応義塾大学卒業後、東京都内のベンチャー企業に入社。3年後、長岡にUターンし、コママーケティング株式会社を設立。新潟県を暮らしやすい街にしたい、という思いで平成18年から立ち上げた子育て支援ビジネス「トキっくらぶ」を展開。

DATA



県内にも魅力的な企業がたくさんある

■Uターンしたきっかけ

生まれ育った長岡が好きで、長岡で暮らすためにどういった仕事をしたらよいかという考えもありました。自分の好きな、得意な分野で、かつ新潟県でも成功するビジネスは何かと考えた結果、マーケティングという業種にたどり着いたわけです。将来Uターンして起業することが前提だったので東京のベンチャー企業に勤めたのですが、当初は10年くらいしてから長岡に戻ろうと思っていました。ところが、新潟県の経済事情や社会情勢は、そこに住んでいないとわからないと思い始め、3年でUターンを決意しました。私生活でも、長岡出身の妻と結婚が決まり、タイミングがあったのも理由のひとつだったと思います。

■Uターンする際に不安だったことや心配だったこと

3年の社会人経験で、本当に起業できるのかという仕事の不安はありましたが、生活に対する不安はほとんどありませんでした。妻も長岡出身ということで、親戚は喜んでくれました。

■現在住んでいる地域の魅力

誰もが言うことですが、食べ物おいしいことです。近所から野菜をおすそ分けしてもらったり、地元ならではの食材を食べることができます。あとは、暮らしやすさ。首都圏のような通勤ラッシュもなく、休みも近くの河川敷に出かけ親子で散歩したり、本当に暮らしやすい街だと思います。Uターンしてから気づいたのですが、仕事で様々な企業とお付き合いし、県内にも魅力的な企業がたくさんあるということを実感しています。この企業で自分が働いたら面白いことができそうだな、なんて思うこともあるんです。



Uターン就職を目指す学生^の心得

「積極的に動いて情報収集を」



帝京大学キャリアセンター
●センター長
由井文良 さん

Q 最近は学生に有利な売り手市場と
言われていますね。

A 確かに求人は多いのですが、企業としては、何
が何でも人数を確保しようとはせず、厳選して
採用しています。売り手市場だからといっても、
油断は禁物です。

Q 有名な企業を希望する学生が多い傾向が
あると聞きますが。

A 確かにその傾向はありますが、新聞の株式欄を
見てもわかるとおり、あまり知られていない企業も
たくさんあります。知っているほんのわずかな企
業だけ狙っているのは、チャンス逃すことだと学生には言っ
ています。

Q Uターンして就職する際に留意することは。

A 地元の大学に進学した人と比べれば情報の
ハンデがあります。こちらにいと地方の情報は

ほとんど入って来ないので、地元に着した就職サイト
にも登録すること、地元の新聞を送ってもらうなどして
社会・経済・文化などを把握することが大切です。^{※1}
帰省したときにインターンシップに参加したり、企業を訪
問したりすれば、情報収集だけでなく、企業の方に積
極性をアピールもできます。地元の大学に通う友達に
聞くこともよい方法です。

Q 親御さんからの情報も貴重ですよ。

A 地元のことを一番知っていますし、最後に頼り
になるのが親御さんです。

これは親御さんへのお願いですが、就職活動し
ている学生は、精神的にも大きな負担がかかっています。
苦勞して内定をもらったのに、頭ごなしに「なんだ、そん
な会社か」と言われると、もうUターンしようなんて思わな
くなります。どうか本人の思いに耳を傾けてあげてください。

^{※1} 情報サイトniiGET「新潟トピックス」をチェック!
(裏面をご覧ください)

「将来のことをよく考えて納得できる就職を」

Q 最近は地方の企業の求人も
多いと聞きますが。

A 地方の企業の採用も増えましたが、首都圏の
企業も積極的ですので、選択肢が増え、もっと
有名な企業、もっと条件のいい企業と、なかなか
決められない学生が多いようです。Uターンするという
意識をしっかり持たないと目移りするんじゃないですか。

Q 将来についてじっくり考える必要が
あるということですね。

A 今すぐ戻るのか、何年後に戻るのかといった
時期も含めて、家族との距離の取り方など、親
御さんと将来の生活についてじっくり話をすること
が大切です。また、地方の企業と首都圏の企業では、
収入や福利厚生、仕事のスケール感などに差がありま
すが、規模が小さい分一人の仕事の守備範囲が広く
やりがいがあるかもしれませんので、何に価値を求め
るのか考える必要があります。これらが中途半端だと、納
得できる就職はなかなかできないと思います。

Q 地方の企業への就職活動のコツは。

A 地元との往復がありますので、体力的にも経済
的にもまた時間的にも厳しくなります。帰省時期
などを使って効率よく活動できるよう早めにスケ
ジュールを調整しましょう。よく第一志望の企業を最初
に受ける学生がいますが、就職活動の初期には実力
を出し切れず失敗するケースが多くなります。出身高
校の進路指導の先生や地元の合同企業説明会等から、
鮮度の高い情報を収集してください。^{※2} 求人を出
してない企業もありますから、これはと思った企業には
直接電話してみるなど、積極的に動く「行動力」も大切
です。企業が最も重視するコミュニケーション能力を養
うことにもなります。たとえ第一志望がかなわなくても、し
っかり準備していれば得るものはあるはずですし、社会で
問題になっている早期離職も減ると思います。

^{※2} 情報サイトniiGET「合同企業説明会スケジュール」をチェック!
(裏面をご覧ください)



東洋大学キャリア形成支援センター
●次長
池上正男 さん

^{※2} 情報サイトniiGET「合同企業説明会スケジュール」をチェック!
(裏面をご覧ください)

新潟で働きたい人の 転職事情



お話しいただいた方々



会は創立25年、共同求人活動は
20年を迎える。全国4万名、新潟
県内では500名の中小企業の経
営者が会員。

新潟県中小企業家同友会
事務局長
池田 泰秋さん



ウェブ「いがた就職応援団ナ
ビ」、「いがた就職応援団キャ
リア」を管理運営。合同企業説
明会などを新潟、首都圏で実施。

株式会社広報しえん
常務取締役
西嶋 弘重さん



2007年1月より第2新卒を対象と
した「リクナビNEXT 第二新卒」
を開設。県央エリア、新潟市内の
企業を120社ほど担当している。
ご自身も第2新卒、Uターン経験者。

株式会社リクルート新潟支店
プランナー
三本 さやかさん

「第2新卒」とは?

大学や専門学校等を卒業して就職し、短期間
(おおむね2~5年程度)のうちに転職を志す者の事。
出典: フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」

近年、求人倍率が高くなり企業にとって採用
は厳しい状態になっていると聞きますが、第
2新卒の求人はいかがでしょうか?

- 池田 新卒を採れない企業が既卒者を採用
するようになって、各社とも人材確保に苦
勞しています。特に機械・製造・電気などの
業界では若い人へ技術を伝えなければなら
ないので深刻な問題です。
- 三本 新潟県では20代を対象とした求
人ニーズはたくさんありますが、「第2新卒」
と明確に打ち出している求人はしていない
という印象を受けます。
- 西嶋 企業側の第2新卒のニーズはある
のですが、どこに対象者がいるのかわから
なくなっています。新卒だと大学を通じて広
報しますが、第2新卒は対象が広いこともあ
り情報が伝え切れていない感じはします。
- 池田 これまで新卒者対象としていた合
同企業説明会を今年は既卒者も対象として「に
いがたJOBWAY」を開催しましたが、盛況
でした。新潟で正社員として働きたい人は
多いし、親御さんからの問い合わせもありま
した。
- 三本 近年は、転職についてマイナスイメ
ージは少なくなってきましたから、第2新卒は
受け入れられると思いますよ。
- 西嶋 企業姿勢は即戦力の採用です。ただ、
第2新卒のニーズも高く、経験よりも可能性

で採用する企業が増えています。

- 三本 やってきた技術というよりも、社会
人としての経験は評価のポイントになると
思います。
- 池田 技術とか能力はわからない部分
が多いので社会経験を重視すると思います。
しかし、前職を「辞めた」理由は聞かれると思
います。
- 西嶋 Uターンという転職理由は良いで
すね。その目的が達成すれば仕事を頑張り
ますから、企業側でもできればUターンの方を
採用したいと思っています。

戻ってきて欲しいと思っている親御さんにとっ
ては、今がチャンスだと思いましたが、就職
情報をどのように得たらいいのか、本人・親
御さんの心得やノウハウなどあります。ま
た、転職してUターンとなると年収などの
問題がいろいろあると思いますが。

- 西嶋 今はネットの時代ですから、転職情
報は調べればたくさんあります。問題は情
報を入手した後で本人が行動するかどうか
にあると思います。
- 三本 行動を起こす際に、いきなり会社訪
問は大変でしょうから、合同企業説明など
を上手に活用するのもいいのでは。既卒の
人でも新潟の企業を知るといった目的で、
新卒対象の説明会に足を運ぶのもいいと思

す。また、そういった主体性を評価してく
れる会社は多いと思います。

- 西嶋 年収もそうですが、勤務地や転職
時期、仕事内容で折り合わないということも
多々あります。転職条件がすべてかなう人
は少ないです。転職において何が重要な
のかしっかり考えて活動すると良いと思いま
す。
- 池田 Uターンして実家に帰るとなると
家賃がいらないですし、年収だけでなく生活
費トータルで考えてほしいですね。東京で
も契約社員やフリーターですと平均で年収
200万円以下だと思います。しかしそれが
新潟で正職員になると年収300~400万
円に増えるわけです。中小企業がたくさ
んある新潟県では、Uターンして、再チャ
レンジが可能だと思いますよ。
- 西嶋 新潟には本当に魅力的な企業がた
くさんあります。ただ、親御さんの中には知
らない企業情報をお子さんが持ってくると
反対する方もいるようです。すぐに反対す
るのではなく、まずはその企業のことを調べ
て判断してほしいものです。
- 池田 親御さんには「新潟で働いて地域
に貢献してほしい」「一生食べていける技術
を身に付けたい」という言い方をし
てほしいですね。新潟県には本当にすごい技
術をもっていたり、すばらしい商品をつくら
せている会社がいっぱいありますから。